

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

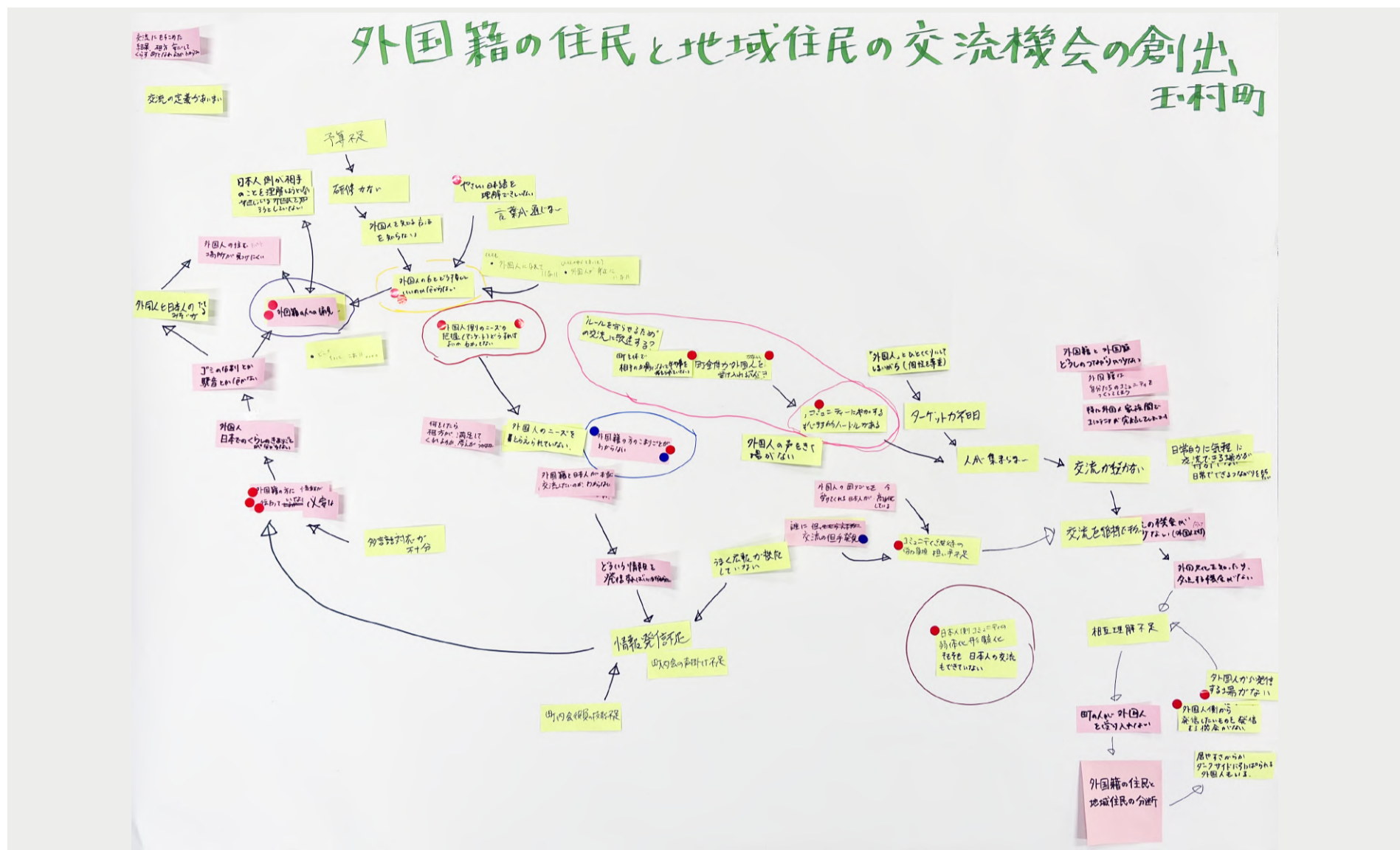
外国籍の住民と地域住民の交流機会の創出

自治体名

玉村町

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 外国籍の方への偏見

外国籍の児童生徒が在籍する小学校に通う親子が主体的に話し合いをする場を設けることで国関係なくお互いを知るために、何が可能か？

2 外国籍の方の困りごとが分からない

悩みや困りごとを抱えている外国籍の方が頼られる相談先にいつでも簡単にアクセスできるような環境・システムを構築することで相談事の解決と相談事例の蓄積により理解を高めるために、何が可能か？

3 外国籍の方に必要な情報が伝わっていない

情報発信方法が分からない自治体が外国籍の方の立場に立った発信方法、内容を理解し情報を届けることで外国籍の方が町のコミュニティに入りやすくなるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>みんなにやさしい情報発信！ with やさしい日本語</p>	<p>やさしい日本語を理解した上で、オンライン上で SNS を複数連携させ、役場職員や市民団体により、やさしい日本語でのイベント情報を発信する。</p>	<p>玉村町 多文化共生祭</p>	<p>11月頃に玉村産業祭と併催する。玉村町役場一帯および関連施設で多文化共生祭を開催する。町内、県内の外国籍コミュニティ各国が各国の特徴をもった食、文化、活動を紹介するブースを出展し、地域住民相互の交流創出、相互理解を深める。</p>
<p>役場を多文化共生のシンボルへ</p>	<p>役場や八幡様で人権担当と多文化共生推進担当がアンケートを実施する。ニーズを把握し、それに沿った研修を行う。ピクトグラムや絵など視覚情報を活用し、全住民の困りごとに対して、頼りになる存在となることを目指す。</p>	<p>学校で 親子参加系 交流会</p>	<p>参観日の学校で、子どもたちと親が参加できるディベートや防災訓練の交流会を開催する。それぞれの出身国を紹介しあったり、授業を行ったり伝統的な料理を振る舞いあったりなど、外国籍住民と地域住民の親子が顔を合わせる機会を持つ。</p>
		<p>心を込めて お手紙を書く</p>	<p>小学校に通う子供たちが、絵手紙をクラスメイトに送り合い、家族と一緒に手紙の内容を共有し、クラスメートの親が、手紙の送り主に返事を書く。</p>